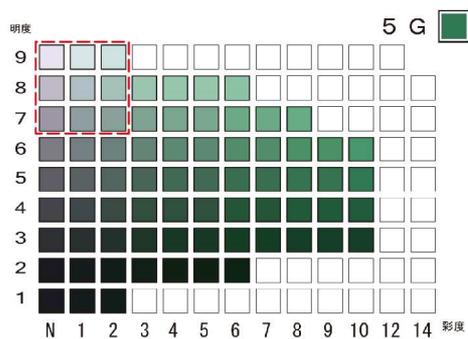
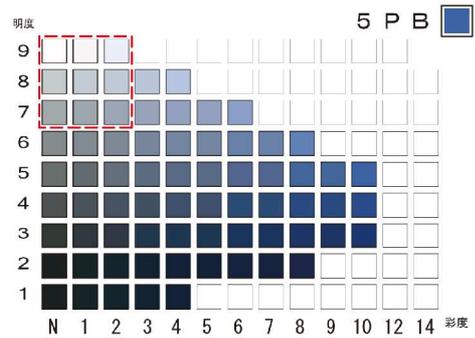
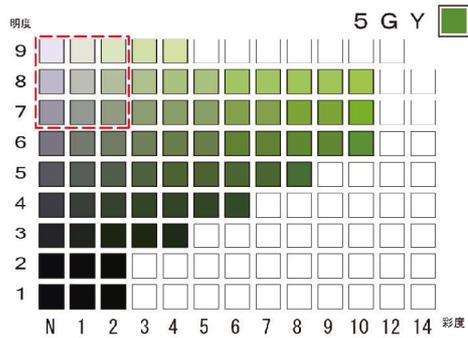
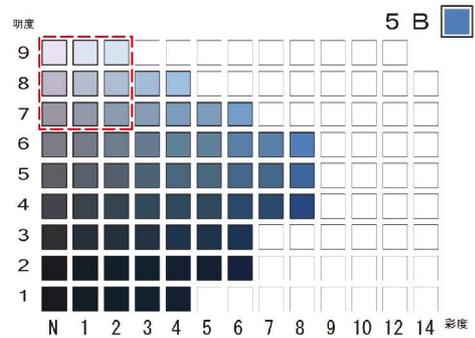
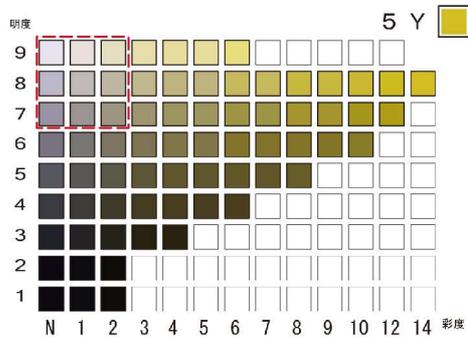
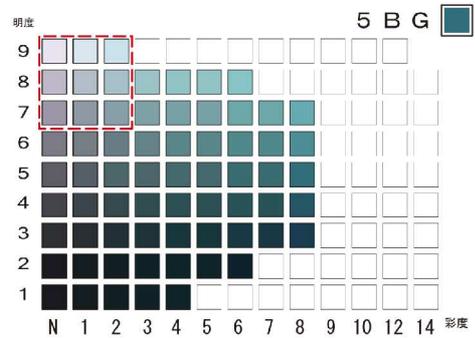
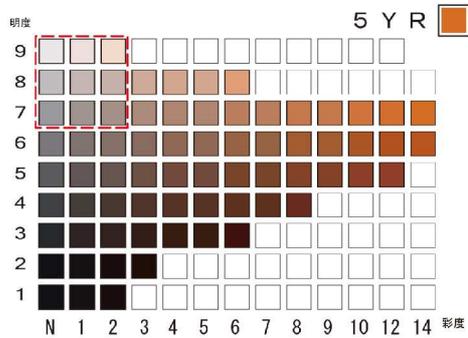


富士市景観計画 煙突類の色彩基準

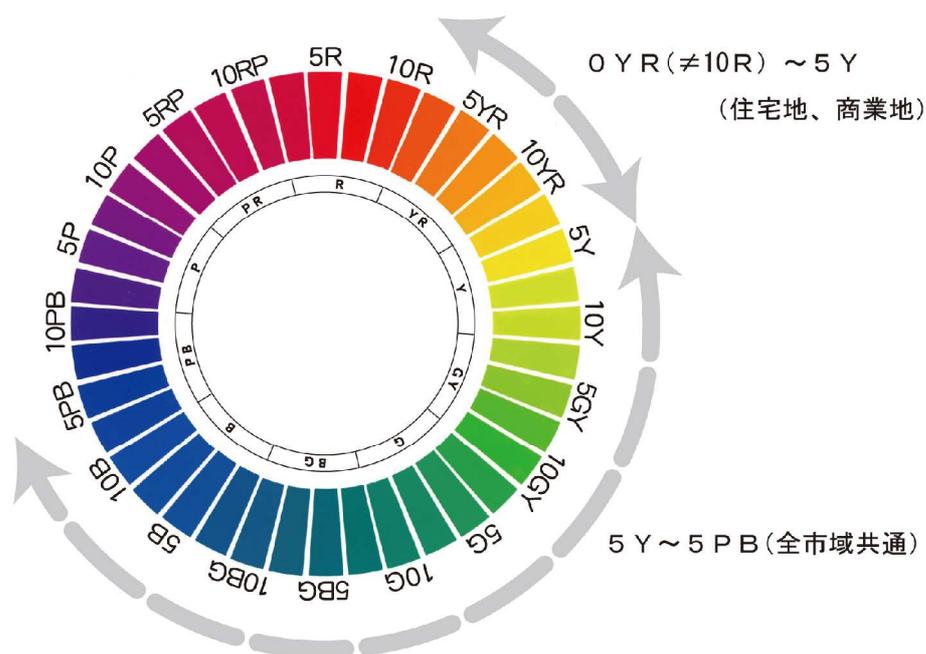
色彩基準

明度・彩度の範囲：明度7以上、彩度2以下



5 Y Rは住宅地・商業地
それ以外は、全市域共通

色相の範囲



《解説》

- ・富士市のイメージを色で表現するものであり、独自性を明確にした基準です。
- ・エントツ整備ガイドブックや工場地色彩ガイドラインを踏まえ、淡い色としています。
- ・平成22年現在、市内の60m以上の煙突21本のうち、航空法による赤白塗装(昼間障害標識)が9本ありますが、そのほかの12本においては、景観に配慮した色彩も複数見られます。煙突の新設及び塗り替えの際には、色彩基準により誘導を行います。(昼間障害標識を設置しなければならない物件は除く)
- ・市街地は明度8~9、田園地帯は明度7~8を推奨します。山間部に立地する場合は、周辺の自然景観と調和を図るため、明度7未満も認めます。
- ・アクセントカラーの使用は可とします。